

「比例を軸に」「近畿はひとつ」、「支部が主役」

3.20 演説会の教訓を総選挙勝利に生かそう

近畿選対部長会議

画期的成功をおさめた 3.20 近畿オンライン演説会の教訓を確認し、総選挙に生かそうと 7 日、近畿 6 府県の選対部長会議がオンラインで行われました。林信一郎・近畿ブロック事務所長が、取り組みのまとめと教訓を報告。討論では「近畿はひとつ」の前進が共通して語られました。

■3.20 演説会は、総選挙勝利のカギである「比例を軸に」「近畿はひとつ」、「支部が主役」を体現し、その中心点での画期的成功であった。

■取り組み 取り組み支部=88.13% 全支部参加=9 地区（和歌山は 3 地区すべて、京都 4、兵庫 2。90%以上=30 地区 視聴箇所=8,245 力所 視聴約束=2 万 1,957

「演説会知らぬものなし」の宣伝=演説会告知ビラ 2 回 75 万枚、3 回連続の近畿いっせい宣伝で 3 万 5000 枚を配布。視聴の大きな広がりをつくり出した。

■企画 志位委員長の演説は「分かりやすい」「明るい」など大変好評。「5 つの提案」をはじめ、N 高、若きマルクスの言葉などへの共感が大きかった。

企画では「近畿はひとつ」と臨場感を重視。開幕直前スペシャル、「近畿はひとつ動画」は近畿の一体感をつくった。3 人の応援弁士への共感が大きく、瀬戸内寂聴さんには「励まされた」など抜群の反響。

候補者の登場は座談会方式など従来とは違うやり方だったが、候補者の個性と魅力を印象づけた。企画の良し悪しは演説会の成否にかかわり、今後とも重視する必要がある。

■経過 「後から DVD で見ればいい」でなく「なぜ同時視聴か」を徹底。インターネットの壁を乗り越えることは「技術問題」でなく、「人材発掘」、機関と支部の関係を温かく取り組みでもある。

■教訓 ①「比例を軸に」「近畿はひとつ」 取り組みの上でも視聴覚の上でも、かつてない一体感がつくり出された。総選挙勝利への決意が一段と高くなった②全支部参加への挑戦が大きな財産をつくった。オンラインの利点が大いに生かされ、それと結び付けて全支部参加の努力がすすんだ。全支部参加を勝ち取った地区では「一人ひとりの党員の運命に責任を負うことの重みを感じた」（京都・東）などの感想③目標を 1 万箇所 5 万人に引き上げ、構えを大きくしたことが力を引き出した。

■総選挙へ 「わき目もふらず比例での党躍進」に集中する。タテ線や小選挙区単位のオンライン演説会の開催、街頭演説の開催、議席の値打ちを語る努力をすすめる。何よりも「特別期間」を成功させる。

奈良市後援会総会 大門さん講演 「党躍進こそ政治変える力」

来る総選挙と奈良市議選（6 月 27 日告示）の勝利めざして 10 日、行われた奈良市の党後援会総会で大門みきし参院議員が講演しました。

大門氏は、先の全党決起集会での志位委員長の幹部会報告の第 2 章をもとに、新型コロナの大規模検査の提唱や新自由主義とのたたかいなど党の先駆的な値打ちを国会論戦も交えて紹介しました。「市民と野党の共闘で菅政権を倒し、野党連合政権を」「そのなかで共産党が大きくなって野党共闘の軸になる政権でないと新しい政治は生まれない。そのために

も、奈良市議選含む一つ一つの政治戦で勝利することが日本を変えることになる」と呼びかけました。終了後、近鉄奈良駅前で谷川かずひろ衆院奈良 1 区予定候補と 7 人の奈良市議選予定候補らとともに訴えました。



21 近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 22(2021.4.14)